

監督	木俣 録八	コーチ	富澤・岩田・本橋・川端・田中	<h1>弓道</h1>	<b>第477号</b>
主将	河合 亮一	副務	金子 哲也		2016. 10. 24
副将	頼政 秀幸		藤原 真		NTT東日本東京
主務	窪田 圭司	部報担当	近藤/藤原		弓道部

## 全日本実業団 第64回弓道大会 & 第36回弓道遠的大会

平成 28年 10月 7日(金)～ 9日(日): 伊勢神宮弓道場 参加: 20都府県: 61事業所: 130(女子 104)チーム: 800名

”事業所対抗戦は2次予選に4チーム進出したが全滅” ”遠的大会も団体・個人とも入賞逸す”

近的競技 女子団体の部6位敢闘賞” ”産業別戦ではAが9位敢闘賞” 近的個人戦女子石川選手が、交歓射会で木俣監督共に2位入賞

### ・競技方法

**事業所対抗戦1次予選:** 3人×4射+2人×4射=20射得点制で、上位96チームを選抜する。

**産業別戦:** 電力・通信・電機の部他4業種別。順位は1次予選の成績で決定する。 1-6位: 7-10位は敢闘賞

**事業所対抗戦2次予選&トーナメント組合せ抽選:** 1次予選終了後事業所対抗戦2次予選進出96チームを、8チームずつ12ブロックに分かれてのトーナメント戦の立ち順抽選を行い、競技は5人1手連続射込み得点制。12ブロックの勝利チームを選出する。

**決勝戦:** 2次予選トーナメント戦勝者12チームにより、3人×4射+2人×4射=20射得点制で順位決定する。1-6位: 7-12位は敢闘賞

**団体戦女子の部**は1次予選通過した上位6チームにて20射の得点制で行い1-3位を入賞、4-6位は敢闘賞とする。

前回神宮遷宮年開催から、東京大会が2年連続したのちの、伊勢神宮開催となり、61事業所、130チーム800名の選手が集い無事盛会に開催されました。

今回も池田コーチが往路7時に三鷹発、伊勢に15時着。復路は伊勢から途中観光しながら三鷹着が21時頃とバスでの長時間行動となり大変お疲れ様でした。

**近的団体戦**は、事前の稽古が身を結び、4チーム全てが2次予選TM戦に駒を進めることが出来ました。TM戦では2チームが初戦敗退、後の2チームも2回戦、3回戦で敗戦し、昨年同様決勝戦にはあと1歩及ばず。女子チームは女子14チーム中5番目の成績で、昨年に続き5回目の決勝戦に進出を果たし、大阪から駆け付けの成松さんと、しばらくご無沙汰の大星さんの助っ人が頑張ってくれて、あと5点取れば入賞ができたが、連年敢闘賞に輝く星になってくれた大会でした。

**産業別戦**は、4チームともの中が今一上らずAチームの96点が最高で、6連続入賞を逃したが9位敢闘賞には何とかたどりついた。

**個人戦**は、男女各2名出場し、石川部員が女子の部平成17年出井さん以来の4位入賞を果たした。また過去の優勝者・監督・役員での交歓射会に監督で出場した木俣監督が10. 7・5・3点のサイクルヒット25点を挙げて2位入賞。H25年本橋さん以来の入賞し、団体戦でのリベンジを果たす。

**遠的大会**は、2チーム出場したが、団体戦を兼ねた個人戦も遠的の稽古不足で惨敗でした。

・**10月7日(金)初日**午後からの総会・監督会議には、バスがまだ鈴鹿あたりを運行して到着が遅れるため、大阪転勤し伊勢に馳せ参じた吉田部員が木俣監督代理で出席してくれた後も恒例の神宮お神楽奉納・内宮参拝し、大会への部員健闘を祈念してもらいました。

・**2日目8日(土)**は前夜半からの雨が止まず、神宮会館講堂にて開会式が挙行された。前年近的大会優勝したCKEから優勝旗が返還されたが、遠的優勝のアスモが優勝杯を忘れたため返還ならず、翌日宅急便にて返還されるハプニングがあった。後CKE代表者の力強い選手宣誓、伊勢市長の来賓祝辞(教育長代理出席)で開式終了。会場を第1弓道場に移し、CKE代表者による矢渡しののち、三重県弓道連盟代表者による祝射を戴き、終了間際に雨が上がり、太陽が燦々と降注ぎだし、競技開始のころには汗ばむほどとなり、大会を共に祝ってくれたようです。

競技は予定通り、**事業所対抗戦1次予選兼産業別戦**は9時50分から開始され、全チームとも連年1次通過得点の60点台以上を目標にして臨む。我が部の1番手は記録委員兼務するBチームからD、A、Cの順で競技し、**1回目**B32点/D35点/A54点/C45点と産業別戦入賞を狙うA・Bの得点が予想より低く、2回目に向けて奮起を促す。

**2回目**、B47点=79点と振るわず/D38点=73点で無事通過点を出し、女子の部でも4位の成績で女子決勝戦に進出/A44点=98点と近年になく低得点であったが**産業別戦電力電信電機の部9位敢闘賞**は何とか確保/C44点=84点挙げ、これで全4チーム2次予選進出成る。

2次予選終了後**女子個人戦**に2部員出場し、中島1中3点と悔しい結果となるが、石川3中17点を挙げ4位入賞おめでとう。

1次予選終了後16時から57点以上の96チームが2次予選TM戦の**組合せ抽選**が行われ、今回は4チームバラバラのブロックになり同士打ち回避された。

・**3日目9日(日)**も前夜半からの雨がやまず、遠的は30分遅れの9時10分から開始。近的競技は予定通8時40分から近的個人戦を開始した。雨は11時頃には上がり蒸し暑くなったが競技は順調に運行された。

最初の**男子個人戦**には、武田太と新人樋泉が出場したが共に入賞には至らず。

10時50分から**2次予選**4チーム出場したが1回戦第3ブロック**B**が愛知県庁Aと27対28の1点差で敗戦。第4ブロックの**C**はマツダと対戦18対6で勝利。第5ブロックの**A**はJFEスチールBと30対28で勝利。第8ブロックの**D**はJFEスチールAに8対38の大差で敗戦。

2回戦は、**C**が三菱電機伊丹の女子チームと対戦するも14対15の1点差で敗戦。残る**A**は本田技研Dと対戦し37対27で勝利し、1チームのみ3回戦に進出。

3回戦に進出した**A**は、北陸電力と対戦するも、5点3本、3点2本=21点と高得点が出ず、北電5点5本、3点1本=28点と5点の2本差で決勝進出を逃がし全滅した。

2次予選終了後の13時半から**交歓射会**が開始され、木俣監督は皆中25点の高得点で2位入賞、近藤顧問は10点に3点2本の16点で17位の成績で入賞ならず。

その後の14時20分から**女子決勝戦**に我がDチームが臨んだが、前の若手二人が全失で厳しくなったが、リーダーの大井部員が5点2本で後半に繋げる。後半の助っ人成さん稽古不足を根性で何とか3・3・5・3皆中14点を挙げ、大落ち2人目の助っ人大星さんに引き続き5点合計29点に追い上げるも3点不足で入賞を逸し6位敢闘賞に甘んじた。

16時10分からの表彰式の目標に、記録委員兼務の部員が記録の取り纏めや賞状印刷に忙しく働いてくれて、16時40分大会は無事終了した。

### 入賞歴

事業所対抗戦		産業別(電力・電信・電機)		個人男子	交歓	遠的大会	
						事業所対抗	個人男子
H 4: 8位	H23: 5位	S62: <b>3位</b>	H19: <b>3位</b>	H 4: <b>3位</b> 木俣	S63: <b>2位</b> 島田		
H 9: <b>3位</b>	H24: 4位	H 2: <b>優勝</b>	H20: <b>優勝</b>	H11: <b>2位</b> 木俣	H 5: <b>2位</b> 近藤	H 3: <b>優勝</b>	H 3: 4位杉山
H11: 敢闘賞	H26: 6位・敢闘賞	H 4: 4位	H21: 9位(敢闘賞)	H13: 4位杉山	H10: <b>優勝</b> 近藤	H 5: 5位	H 5: 4位田中
H12: <b>3位</b> ・5位・6位		H 7: 4位	H22: 9位(敢闘賞)	H15: 4位頼政	H12: 6位清水	H16: 6位	H11: <b>3位</b> 藤原
H15: 5位		H10: 4位	H23: <b>3位</b>	H25: 5位河合	H14: 5位保科	H17: <b>3位</b>	H13: <b>3位</b> 及川
H16: 敢闘賞	<b>女子団体</b>	H11: 5位	H24: <b>3位</b>	H26: <b>3位</b> 池田	H17: <b>3位</b> 富澤	H18: 5位	H17: <b>優勝</b> 藤原
H18: 4位	H16: <b>3位</b>	H12: <b>3位</b> ・6位	H25: 5位		H22: 5位本橋	H19: <b>2位</b>	: 4位及川
H20: <b>優勝</b>	H17: 敢闘賞	H13: <b>2位</b>	H26: 4位	<b>個人女子</b>	H23: <b>2位</b> 木俣	H21: 6位	H18: 4位頼政
H21: 5位	H18: 敢闘賞	H14: <b>2位</b> ・5位	H27: <b>3位</b>	H14: 6位佐藤哉	H25: 6位本橋	H22: 5位	H20: <b>優勝</b> 藤原
	H27: 敢闘賞	H15: <b>3位</b>	H28: 9位(敢闘賞)	H17: 4位出井	H28: <b>2位</b> 木俣	H24: 4位	H22: 6位池田
	H28: 敢闘賞	H16: <b>3位</b>		H28: 4位石川			
		H17: <b>3位</b>					

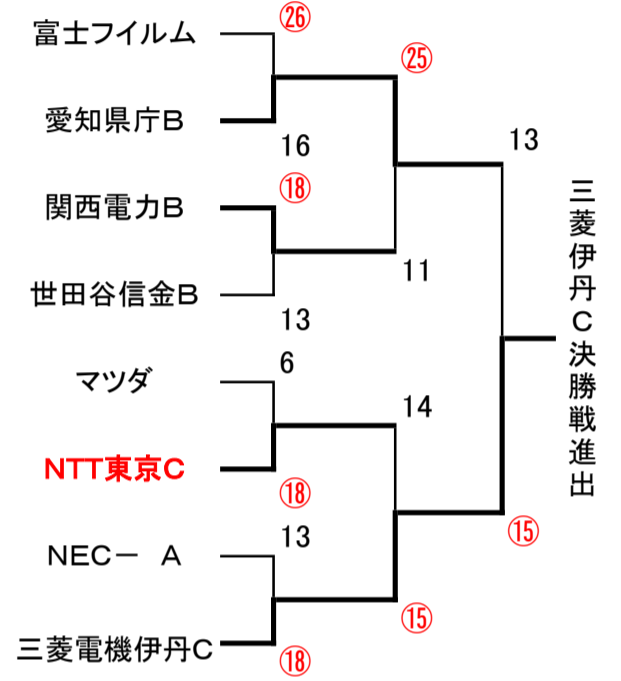
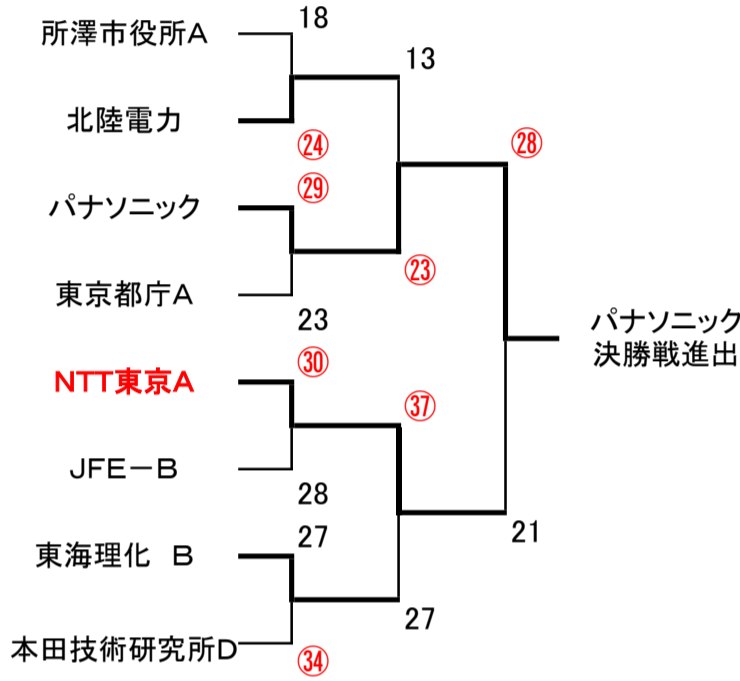
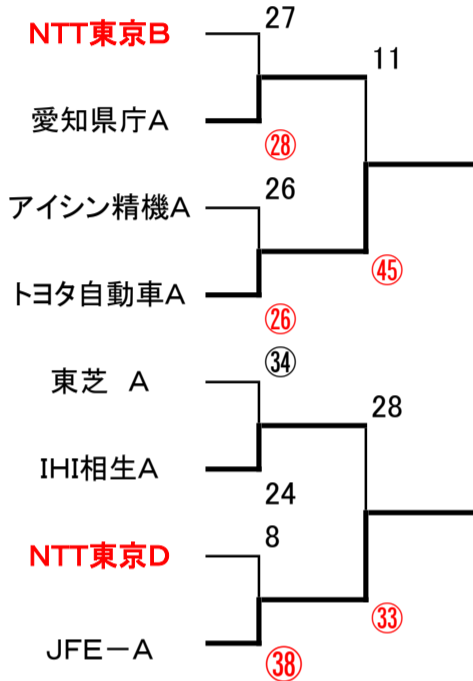
第63回全日本実業団弓道大会結果

女子の部は3位まで4-6位敢闘賞

順位	事業所対抗戦 (20射) 132チーム	産業別(電力・電信・電機)8射×5人=40射 49チーム	女子対抗戦(20射) 10チーム	順位	交歓射会 (各自4射)93名
優勝	JFEスチール A 73点	中部電力 A 150点	シーケーエンジニアリングA 79点	優勝	森山 英樹 (トヨタ自動車) 30点
2位	シーケーエンジニアリングB 71点	横河電機 D 118点	三井住友銀行B 43点	2位	木俣 録八 (NTT東京) 25点
3位	旭化成 68点	横河電機 A 114点	東海理化 B 32点	3位	都築 治雄 (アイシン精機) 23点
4位	横河電機 C 67点	中部電力 B 110点	三菱電機伊丹 C 31点	4位	中川 貴夫 (キヤノン) 22点
5位	パナソニック 62点	三菱電機伊丹 A 108点	横河電機 B 30点	5位	田辺 和宏 (本部) 22点
6位	コガネイ 48点	イビデン A 107点	NTT東日本東京D 29点	6位	船間 武志 (神戸市役所) 22点
敢闘賞	三井住友銀行A 44点	アスモ 105点	順位	個人戦男子(各自4射) 131名	個人戦女子(各自4射) 93名
敢闘賞	豊田自動織機 41点	東芝 A 101点	優勝	脇 宏光(中部電力) 27点	浅利 美帆(日野自動車) 18点
敢闘賞	村田製作所C 36点	NTT東日本東京A 98点	2位	藤井 孝行(安永) 25点	山本 靖子(神戸市役所) 18点
敢闘賞	東芝 B 31点	イビデン B 96点	3位	関野 洋平(日乃自動車) 25点	岩本 真美(イビデン) 18点
敢闘賞	三菱電機伊丹C 29点	*1次予選を兼ねた産業別5部門	4位	勝山 悦二(パナソニック) 24点	石川 稚菜(NTT東京) 17点
敢闘賞	安永 28点	上位6位決定、7-10位は敢闘賞	5位	木内 貴博(川崎重工) 23点	高橋 絵里(さいたま市役所) 16点
*2次予選勝者12チームにて決勝、上位6位決定、7-12位は敢闘賞			6位	佐藤 佑哉(コガネイ) 21点	金井田 カナコ(トヨタ自動車) 13点

2次予選トーナメント戦

NTT東日本東京チーム成績



団体名	氏名	産業別戦(60チーム)兼事業所対抗戦(151チーム)1次予選上位96チーム										事業所対抗戦2次予選(96チームトーナメント戦)										事業所対抗戦					団体戦個人記録									
		1回目					2回目					合計		1回目			2回目			3回目			合計		決勝戦(12チーム)											
		1	2	3	4	小計	1	2	3	4	小計	点	中	1	2	小計	1	2	小計	1	2	小計	点	中	1	2	3	4	計	中	点	中	射	的中率		
A	藤原	0	0	5	0	5	0	3	5	0	8	13	3	0	7	7	5	3	8	5	5	10	25	5							0	38	8	14	0.571	
	河合	5	5	5	3	18	5	0	7	3	15	33	7	5	3	8	5	3	8	5	0	5	21	5							0	54	12	14	0.857	
	宮川	0	3	0	5	8	0	5	0	3	8	16	4	0	0	0	3	3	6	3	3	6	12	4							0	28	8	14	0.571	
	樋泉	3	5	0	5	13	3	5	0	5	13	26	6	5	3	8	5	3	8	0	0	0	16	4							0	42	10	14	0.714	
	木俣	0	7	0	3	10	0	0	0	0	0	10	2	7	0	7	7	0	7	0	0	0	14	2							0	24	4	14	0.286	
	合計		12		中	54		10		中	44	98	22	6	中	30	9	中	37	5	中	21	88	20							中	0	0	186	42	70
成績	産業別戦 9位敢闘賞					対抗戦:1次予選29位通過					対JFE-B <sup>28</sup>		対本田技研D <sup>27</sup>			対パナソニック <sup>28</sup>			50 10		3回戦敗退					点 中 射										
B	窪田	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	1	5	0	5			0			0	5	1							0	8	2	10	0.200	
	武田太	0	3	0	0	3	0	3	7	5	15	18	4	0	3	3			0			0	3	1							0	21	5	10	0.500	
	池田	5	0	5	3	13	5	0	0	0	5	18	4	7	7	14			0			0	14	2							0	32	6	10	0.600	
	吉田	0	7	3	3	13	5	7	5	5	22	35	7	0	0	0			0			0	0	0							0	35	7	10	0.700	
	横瀬	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	5	1	0	5	5			0			0	5	1							0	10	2	10	0.200	
	合計		8			32		9		中	47	79	17	5	中	27			中			中	27	5							中	0	0	106	22	50
成績	産業別戦 23位					対抗戦:1次予選56位通過					対愛知県庁A <sup>28</sup>										1回戦敗退															
C	杉山	0	3	3	5	11	0	5	0	0	5	16	4	5	3	8	0	3	3			0	11	3							0	27	7	12	0.583	
	保科	0	0	0	0	0	3	0	7	5	15	15	3	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	15	3	12	0.250	
	富澤	0	7	0	3	10	0	3	5	10	18	28	5	0	3	3	3	5	8			0	11	3							0	39	8	12	0.667	
	近藤	3	5	3	3	14	0	3	3	0	6	20	6	0	7	7	0	3	3			0	10	2							0	30	8	12	0.667	
	梅本	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	5	1	12	0.083	
	合計		10		中	40		9		中	44	84	19	4	中	18	4	中	14			中	32	8							0	116	27	60	0.450	
成績	産業別戦 17位					対抗戦:1次予選47位通過					対マツダ <sup>6</sup>		対三菱伊丹C <sup>15</sup>										射													
D	中島	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	1	0	0	0			0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	14	0.071	
	石川	0	5	5	0	10	0	3	10	0	13	23	4	0	3	3			0			0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	26	5	14	0.357	
	大井	5	3	3	3	14	0	5	7	0	12	26	6	0	0	0			0			0	0	0	0	5	5	0	10	2	36	8	14	0.571		
	成松	3	0	0	0	3	5	0	0	5	10	13	3	0	5	5			0			0	5	1	3	3	3	5	14	4	32	8	14	0.571		
	大星	5	3	0	0	8	0	0	0	0	0	8	2	0	0	0			0			0	0	0	5	0	0	0	5	1	13	3	14	0.214		
	合計		9		中	35		7		中	38	73	16	2	中	8			中			中	8	2							29	7	81	25	70	0.357
成績	産業別戦 27位					対抗戦:1次予選66位通過					対JFE-A <sup>38</sup>					対		女子の部 6位敢闘賞					射													

男子120名:

女子: 80名

84名

個人戦	種別	選手	男子					順位	種別	選手	女子					順位	種別	選手	交歓					順位			
			1	2	3	4	点				1	2	3	4	点				1	2	3	4	点				
男子		武田太	0	0	5	0	5	1	77位	女子	石川	5	7	5	0	17	3	4位	交歓	木俣	10	7	5	3	25	4	2位
男子		樋泉	0	7	0	5	12	2	38位	女子	中島	3	0	0	0	3	1	48位	交歓	近藤	0	3	10	3	16	3	17位

## ”” 第36回遠的大会 ”” 団体戦・個人戦共入賞出来ず

遠的大会は8時30分に受付開始されたが、雨足が弱くならず、競技は30分遅らせ9時20分から開始した。競技は近的競技の合間を縫っての出場であり、Aが池田2中12点・藤原1中5点、宮川2中8点と=25点自滅。またBの樋泉・横瀬は全失、富澤3中15点挙げたがこちらあえなくダウン。次回は遠的も十分稽古して臨みましょう。

### 第36回遠的大会結果

遠的大会(参加:団体戦143チーム:個人男子342名:女子93名)

順位	遠的団体事業所対抗戦	点	個人戦男子		個人戦女子	
優勝	本田技術研究所	61点	渡邊 雄大 (旭化成)	27点	山中 千種 (CKE)	18点
2位	トヨタ自動車 A	49点	寺崎 隼登 (CKE)	27点	片平 奈々子 (日立製作所)	15点
3位	JFEスチール B	46点	高中 邦生 (JFEスチール)	25点	岩本 真美 (イビデン)	14点
4位	シーケーエンジニアリングD	43点	中川 貴夫 (キヤノン)	25点	服部 明子 (日立製作所)	13点
5位	旭化成	43点	木村 亮太 (東レ)	23点	国本 あずさ (イビデン)	13点
6位	アスモ A	43点	鈴木 真人 (本田技研)	22点	磯野 恵実 (富士フィルム)	13点

### NTT東京チーム成績

	氏名	1	2	3	4	合計	個人順位
A	池田	0	5	0	7	12	53位
	藤原	0	0	5	0	5	150位
	宮川	3	0	5	0	8	100位
	合計	点				25	
	成績	団体戦順位 32位					
B	樋泉	0	0	0	0	0	231位
	横瀬	0	0	0	0	0	231位
	富澤	0	5	7	3	15	36位
	合計	点				15	
	成績	団体戦順位 69位					

### 大会を振り返って

皆さん稽古不足はさておき、平常心で臨めましたか。的にとらわれず心で正鵠を狙う。会は無数の引き分けであり、その延長で離れよ。12月からの中塚師範の研修会で修正を。

今回は、岩手国体と同時期の開催となり、国体代表選手を送り出した参加事業所多く、不参加になったり、出場者が減ったりの関係で、例年より入賞得点が若干下がり、入賞者の顔が変わったことが伺えた。我が部はこの機会を活かせなかったことに悔いが残りましたね。

・大会役員として今回も、全実弓連の副会長兼務専務理事の近藤顧問が大会副会長と総務委員長として、大会運営全般の仕切り役を、また、大会の核となる記録副委員長には藤原・窪田両部員が、更に同委員には競技参加部員全員協力し、競技役員兼務で運営に参画し、大会を盛会無事に収めた。特に採点記録、順位計算、賞状作成等含めた記録プログラムは、6年前に近藤顧問が副会長就任を機に、記録作業効率化のため、頼政・藤原両部員に協力要請し仕事の合間に無償で作成してもらったものであります。このシステム構築により、記録作業や賞状作成が迅速化し、役員並びに参加者から好評を得ています。皆さん競技参加しながら大会運営の協力に対し、熊澤大会会長から感謝の言葉をいただきました。目標成果にあと1歩お疲れ様でした。

さて、後は11月の東京都実業団団体戦があり、この大会に向けて気持ちを切り替え、好成績が残すべく各自の射技を見直して臨みましょう。